



島田 少年少女合唱団が長崎の団体と初の合同演奏
島田市少年少女合唱団はこのほど、長崎県の波佐見児童合唱団とのジョイントコンサートで島田市川根町の川根文化センター「チャリム21」で開き、美しい歌声を披露した。写真。互いの指揮者の交流から、合同演奏が初めて実現した。コンサートは4部構成。島田市少年少女合唱団の舞台では、夏休みに実施したワークショップの参加者も交えて、とりの「トロロ」や「森のくまさん」などなじみのある曲を合唱した。

ドナウ」や波佐見児童合唱団のアレンジ曲を振り付きて披露し、来場者を楽しませた。来年は、長崎県波佐見町でのジョイントコンサートを予定しているという。

島田 金谷小のトンネルお色直し
県内の塗装業者でつくるボランティア団体「静岡塗魂(とうこん)ペインターズ」がこのほど、島田市の金谷小の校舎とグラウンドをつなぐ「なかよしトンネル」の化粧直しを行った。写真。



約20社の代表者や家族が参加した。脚立により、ローラーやはけで長さ18メートルのトンネルの天井を白く塗り替えた。「汚れが自立ち、薄暗くなったトンネルを明るくしたい」という学校側の願いを聞いて実施した。フジタ塗装の藤田優介さん「同市船木」は「わくわくするようなトンネルに仕上がっているように感じました。」

た。子どもたちの喜び顔を想像すると、新学期が楽しみ」と話した。

富士宮 静大生が富士砂防で現場学習
県内外の大学生が国の砂防事業を現場で学ぶ「キャンパス砂防in富士山2015」(国土交通省富士砂防事務所主催)が24日、富士宮市内で始まった。写真。28日まで。

参加者は静岡大3年の小林政人さん、金沢工業大3年の沢井泰基さん、東京農工大3年の植之原碧さん、富士山大沢崩れなどを訪ね、国が進める対策工事について見識を深める。富士宮市の同事務所での開講式で、

まちトピ



突区 静岡巺LCがピオトープ整備
静岡巺ライオンズクラブ(赤堀一通会長)はこのほど、静岡市葵区の児童養護施設「静岡ホーム」内にあるピオトープの整備に取り組んだ。大人の背丈ほどに成長した草

を刈り、樹木の枝切りや朽ちてきた池の周囲の柵の交換を行った。写真。同クラブは15年前、施設の子どもたちに「命の連鎖を身近で観察できる機会を与えたい」とピオトープを造り、管理を続けている。

を山門前に並び、市内の小生がキャンドルを覆う和紙に水彩画などを施した作品も併せて展示している。来場者は寺の本堂まで続く、キャンドルの道歩きながら、写真撮影をしたり、光をじっと眺めたりした。



点灯時間は午後7時半～9時。主催する修善寺温泉旅館協同組合青年部は「ボランテリズム」と題し、キャンドルの設置や撤収作業に協力してくれる人を募集している。申し込みは同組合フェイスブックページへ。

日、ものづくり教室を同校で開いた。小学生16人が、ロボットや小型懐中電灯などを製作する5テーマに分かれ、さまざまな技術を体験した。写真。

夜には焼津水産高吹奏楽部の演奏会や留学生と交流する夏祭りも開かれた。

伊豆 31日まで修禅寺境内にキャンドル
伊豆市修善寺の修禅寺境内などをキャンドルの光で照らす、修善寺温泉「光の祭典・キャン



富士 児童がロボットづくり体験
富士市の県立吉原工高は24

の理科実講師が事前に、

静岡・志太榛原

大人の目が輝くとき

の理科実講師が事前に、